

# 葉山町(神奈川)と下水道ウォーターPPP締結

## 中央設計技術研究所ら3社共同

葉山アゼリアパイプ 18日、「葉山町下水道  
ワークス共同企業体は ウォーターPPP(管  
路施設管理・更新一体  
マネジメント)事業」



左から葉山町の山梨崇仁町  
長、東急建設の寺田社長、フジ  
地中情報のアラニヤ社長、中  
央設計技術研究所の西原社長

## 下水道管路施設で国内初

(石川、西原秀幸社長)  
の3社で構成。各社が  
培ってきた技術や経営  
ノウハウを活かし、管  
路施設の管理・更新一  
体マネジメントを担  
う。

において優先交渉権者  
に選定され、神奈川県  
葉山町と事業契約を締  
結した。下水道管路施  
設のみを対象とした更  
新実施型のウォーター  
PPP(レベル3・5)  
事業は、国内初の取り  
組みとなる。

共同企業体は、総合  
建設業の東急建設(東  
京、寺田光宏社長)を  
代表企業とし、建設コ  
ンサルタントのフジ地

中情報(東京、アントワ  
ーヌ・アラニヤ社長)、  
中央設計技術研究所

計画的維持管理や計  
画支援、住民対応、改築  
計画支援に伴う設計、  
工事などの関連事項、  
セルフモニタリングな  
どによる情報・統括管  
理に関する業務で、同  
町の持続的な下水道事  
業を推進。公共水域  
の水質保全、脱炭素、  
経費削減、更新費用の  
抑制など、将来にわた  
って経営に寄与する。

委託期間は4月1日  
から2036年3月31  
日までの10年間となっ  
ている。



【W-PPP 契約を締結】

# W-PPP 契約を締結

## 葉山町 4月から事業開始へ



葉山町は18日、葉山アゼリアパイプワークス共同企業体（代表企業・東

急建設、構成企業・フジ地中情報東京支店、中央設計技術研究所横浜事務所）とウォーターPPP

の事業契約を締結した（写真）。契約期間は令和8年4月1日～18年3

月31日までの10年間。契約金額は、20億1300

万円（税込）。

同町が導入するのは、

W-PPPの管理・更新一体マネジメント方式（レベル3・5）のうち、更新支援型の要素（更新

計画案の作成）を含んだ

更新実施型。対象は下水道事業の管路施設（汚水

管きよ、マンホール、マ

ンホール蓋、汚水ます、

取付管）。ただし、マン

ホールポンプ設備および

葉山中継ポンプ場と葉山

浄化センターを結ぶ幹線

管きよ（圧送管）は葉山

町下水道ウォーターPP

P（処理場等施設コンセ

ッション）事業の対象施

設としている。

なお、2者は昨年12月

15日付で同事業の契約に

関する手続きや、契約締

結手続きに対する双方の

努力義務などに係る基本

協定を締結している。